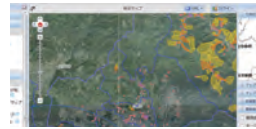


(独)防災科学技術研究所と協力し、防災に関するインターネットサイト「小林市ポータル」を実験的に運用しています。市内の自主防災組織が作成した防災マップなどを閲覧できます。市民協働による防災の取り組みをのぞいてみませんか。(問：小林市市民活動支援センターTel.27-3177)



防災
大雨や台風の気象情報に注意
早めの防災対策・避難行動を



普段から「土砂災害危険箇所」などを確認し、雨が降り出したら警戒情報に注意しましょう

➤ れからの時期、台風や大雨による風水害が発生する可能性が高くなります。普段の備えや事前の準備で、被害を最小限に抑えましょう。危険箇所や避難場所を家族で確認したり、非常持ち出し品を準備しておきましょう。また、台風などは突然やってくるわけではありません。気象情報を得ることで備えることができます。普段からテレビやラジオなどで情報を得るようにしましょう。



防犯
市内で住宅火災が多発。
対策と意識を見直しましょう

今年に入り、市内で16件の火災が発生しています。このうち、11件が建物火災で、3人が亡くなりました。今一度、家庭や職場で、対策を見直しましょう。また、火災が起きたときに、減災と救命につながるのが「住宅用火災警報器」。法律で取り付けることが決まっています。未設置の家屋などには、早急に取り付けましょう。(●問：西諸広域消防本部Tel.23-5537)



火災で死亡する主な原因が「逃げ遅れ」であるため、警報器の設置が義務化されています

取り組みを紹介します

きずな協働体 今月は、西小林中学校区



にっこばでブルーベリー葉栽培に挑戦!

にっこばまちづくり協議会の平成27年度総会が、5月16日、西小林地区公民館で開催されました。地域住民ら約100人が出席。新役員や事業計画などが承認されました。事業計画では、地域全体の避難訓練やソーメン流し、ひまわりビアガーデン、エヒメアヤメ自生地

の草刈、伝統・文化カレンダーの作成など各部会の活動を行います。また、自主財源を確保するため、宮崎大学農学部などと連携し、新品目「ブルーベリー葉」の栽培に着手。さらに、道の駅の設置についても研究していきます。

ブルーベリー葉は、機能、ドライアイや高血圧に良いと言われています。健康的に活動したいですね。



地域活性化部会
尾崎幸廣さん

協働により「九州一 安心安全なまち 小林市」を目指して

こばやし協働

Info & News

インフォ アンド ニュース



防災
南西2区で
地域住民ら防災を学ぶ



実際に担架を使う住民ら。今後、毎年開催し災害発生時に機材が使えるように訓練していきます

第1回南西2区ふれあいまつりが、5月17日、消防団第3分団第10部詰所駐車場で行われました。地域住民や消防団員など、約100人が参加。昨年12月に設置した防災倉庫の資機材の点検を兼ねた実演や体験、消防団による放水体験や豚汁の振る舞いなどが行われました。同区の中村祐一(なかつらゆういち)区長は「子どもから高齢の人まで、防災について楽しく学んでもらえたのでよかった。今後も続けていきたい」と話していました。



障がい者福祉
障がい者が住みやすい地域に
7人が身体障がい者相談員に

4月20日、障がい者の初期の相談や相談者と行政のパイプ役として、身体障がい者相談員7人に委嘱状が交付されました。相談員を代表して、野田進一(のだしんいち)さんが「勉強をしながら、障がいのある人たちが安心して生活できるよう努めたい」と決意を述べました。委嘱期間は、平成27年4月1日から平成29年3月31日まで。相談員は障がい者の相談を受けるだけでなく、障がいに対する正しい認識と理解の普及・啓発なども行っていきます。



委嘱状を受け取る舞田慶一郎(まいたけいちろう)さん。毎月第4日曜日に定期相談を行っています

登録者数1万人目前! カウントダウン 5月20日現在: 9554人



防災や防犯に役立つ情報届けます。「小林市防災・防犯メール」

災害や身近な防犯情報をお届けします。携帯電話やスマートフォンのカメラ機能で、QRコードを読み取り、本文に「ぼうさい」と入力し、送信すると登録できます。登録完了メールが届かない人は、防災メールなどを受信できない設定になっている場合が考えられます。「city.kobayashi.lg.jp」からのメールを受信できるよう携帯電話から設定するか、最寄りの携帯電話の販売店にて受信設定を行ってください。(問：危機管理課 Tel.23-1175)



QRコード